

TOYO TIRES

**2023年度通期
決算説明資料**

2024年2月14日

TOYO TIRE 株式会社

1. 2023年度 通期実績

2. 2024年度 通期業績予想

3. 経営施策 進捗状況

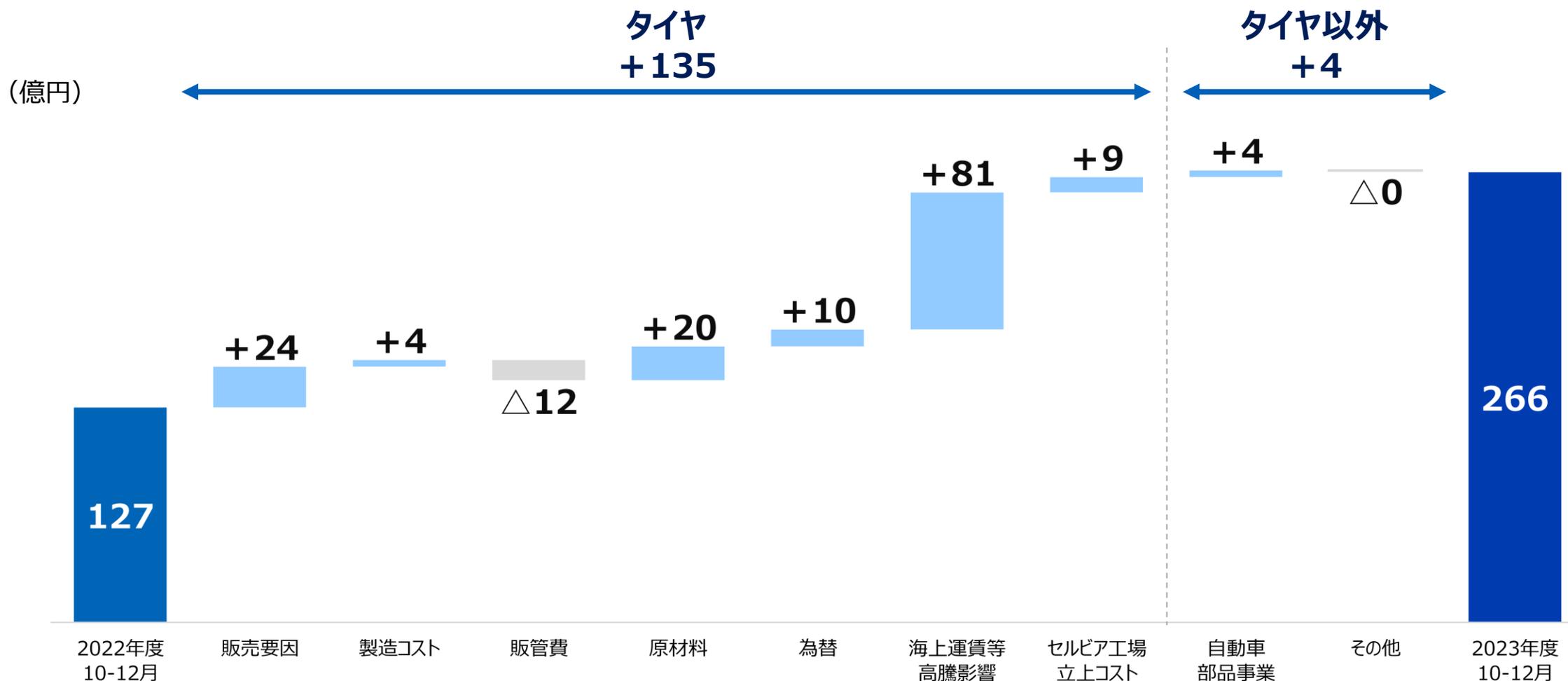
- 北米でのタイヤ販売本数の伸長などにより、
売上高は**過去最高となる5,528億円**を計上
- 重点商品の販売促進に加え、海上輸送費や為替など外部環境が追い風となり、
営業利益も**過去最高となる769億円**を計上
- 為替差益の計上等により経常利益は**860億円**、
有価証券売却益の計上等により純利益は**723億円**となり、いずれも**過去最高**を記録
- 1株当たり配当金は、従来予想を上回る**年間100円**
- 2024年度の業績予想は、**売上高 5,600億円**
営業利益 780億円 を見込み、
1株あたり配当金は**年間105円と増配**を予想

過去最高とは、決算期を変更した2013年以降の業績におけるもの

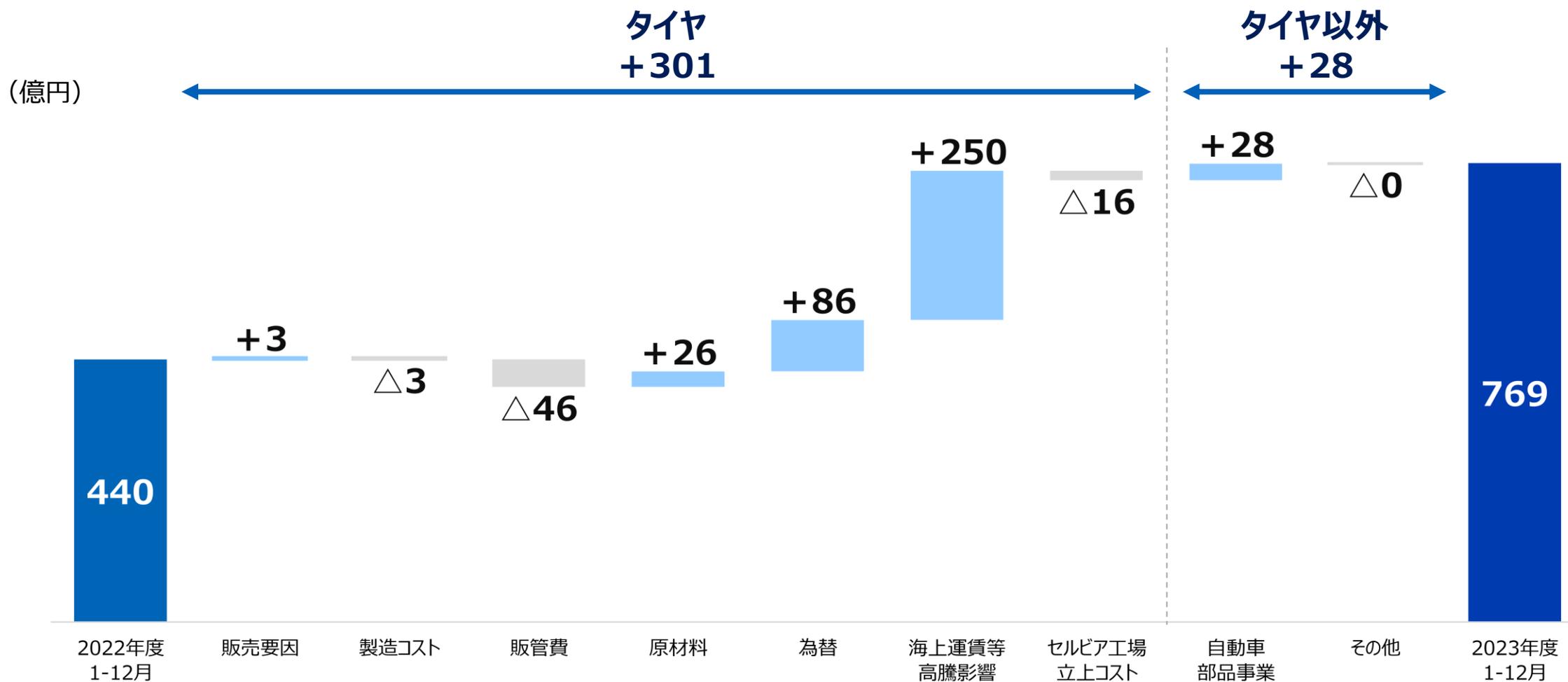
(百万円)	2023年度 1-12月実績	2022年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2023年度 1-12月予想	対予想 増減額	2023年度 10-12月実績	対前年度 増減額
売上高	552,825	497,213	+ 55,611	+ 11.2%	560,000	△7,174	143,604	△3,179
営業利益	76,899	44,046	+ 32,853	+ 74.6%	65,000	+ 11,899	26,574	+ 13,920
営業利益率	13.9%	8.9%	—	—	11.6%	—	18.5%	—
経常利益	86,047	51,035	+ 35,012	+ 68.6%	70,000	+ 16,047	21,558	+ 15,810
当期純利益	72,273	47,956	+ 24,316	+ 50.7%	60,000	+ 12,273	15,505	+ 12,317

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	100円	80円	+ 20円
米ドル	141円	131円	+ 10円
ユーロ	152円	137円	+ 15円

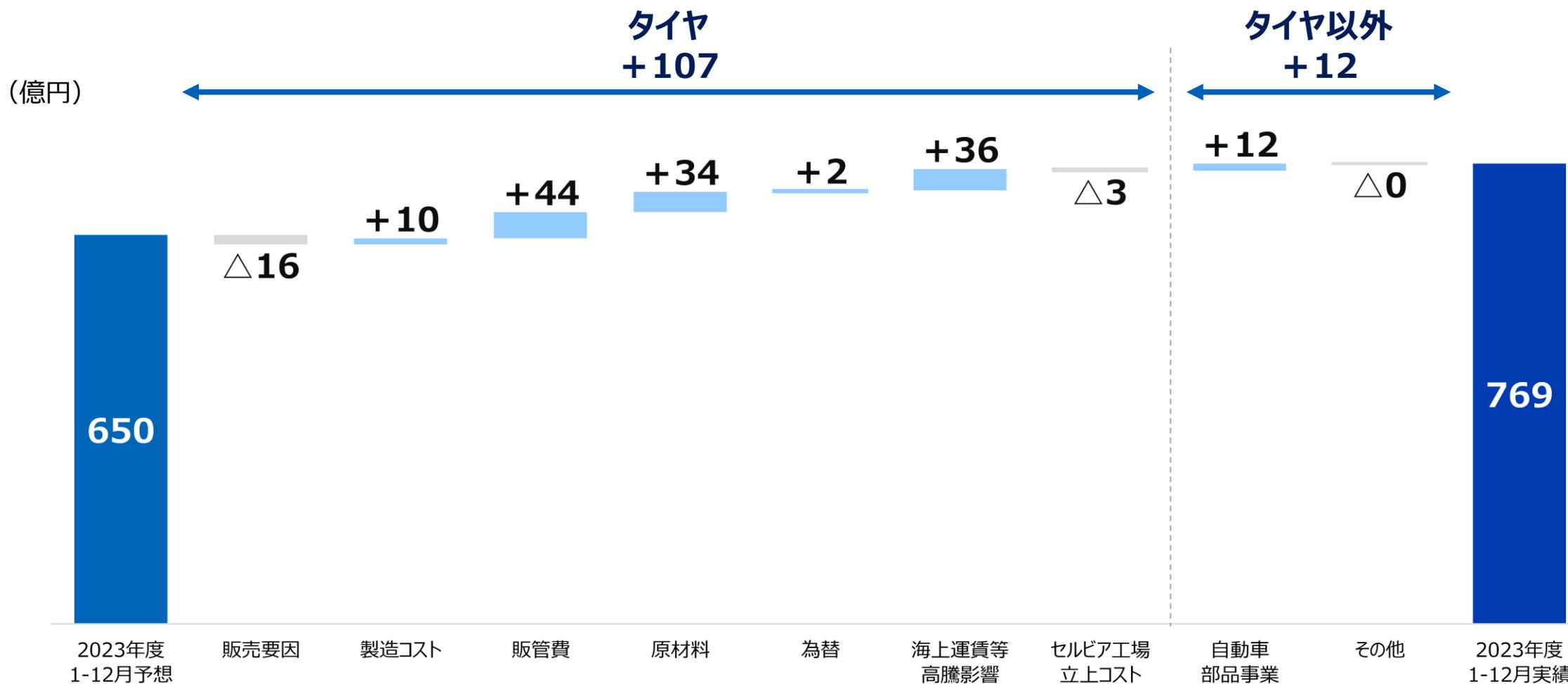


	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	合計
1-3月実績	+4	△15	△4	△28	+37	+3	△17	+5	+0	△16
4-6月実績	△33	△4	△18	△2	+15	+67	△4	+2	+0	+23
7-9月実績	+9	+11	△11	+36	+25	+99	△3	+18	△0	+182



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
1-9月実績	△21	△7	△34	+6	+77	+169	△24	+24	△0	+189
10-12月実績	+24	+4	△12	+20	+10	+81	+9	+4	△0	+139

2023年度通期 営業利益増減要因（第3四半期時点予想比）



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
10-12月予想	+40	$\Delta 6$	$\Delta 56$	$\Delta 14$	+8	+45	+12	$\Delta 8$	$\Delta 0$	+20
10-12月実績	+24	+4	$\Delta 12$	+20	+10	+81	+9	+4	$\Delta 0$	+139

(百万円)	2023年度		2022年度		2023年度		2023年度	
売上高	1-12月実績	1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	1-12月予想	対予想 増減額	10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	505,438	455,796	+49,642	+10.9%	514,000	△8,562	131,275	△4,407
自動車部品	47,374	41,346	+6,028	+14.6%	46,000	+1,374	12,328	+1,232
その他	25	116	△91	△78.4%	0	+25	0	△11
調整額	△13	△45	+32	-	0	△13	△0	+6
合計	552,825	497,213	+55,611	+11.2%	560,000	△7,174	143,604	△3,179

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2023年度 1-12月実績	2022年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2023年度 1-12月予想	対予想 増減額	2023年度 10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	76,725	46,636	+30,089	+64.5%	66,000	+10,725	26,446	+13,549
営業利益率	15.2%	10.2%	-	-	12.8%	-	20.1%	-
自動車部品	178	△2,591	+2,769	-	△1,000	+1,178	131	+375
営業利益率	0.4%	△6.3%	-	-	△2.2%	-	1.1%	-
その他	△4	7	△11	-	0	△4	△4	△5
調整額	△0	△6	+6	-	0	△0	△0	+0
合計	76,899	44,046	+32,853	+74.6%	65,000	+11,899	26,574	+13,920

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

2023年度通期 所在地別セグメント情報

(百万円)

売上高	2023年度 1-12月実績	2022年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2023年度 1-12月予想	対予想 増減額	2023年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	122,206	109,892	+12,314	+11.2%	124,700	△2,494	37,751	+510
北米	357,801	320,230	+37,570	+11.7%	362,700	△4,899	88,163	△4,393
その他	72,817	67,090	+5,726	+8.5%	72,600	+217	17,689	+703
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	552,825	497,213	+55,611	+11.2%	560,000	△7,174	143,604	△3,179

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2023年度 1-12月実績	2022年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2023年度 1-12月実績	対予想 増減額	2023年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	67,047	23,273	+43,774	+188.1%	56,500	+10,547	23,199	+14,512
北米	17,589	19,760	△2,170	△11.0%	17,200	+389	2,745	△3,886
その他	3,323	2,729	+593	+21.8%	2,500	+823	315	+1,222
消去または全社	△11,061	△1,717	△9,344	—	△11,200	+139	313	+2,070
合計	76,899	44,046	+32,853	+74.6%	65,000	+11,899	26,574	+13,920

1. 2023年度 通期実績
- 2. 2024年度 通期業績予想**
3. 経営施策 進捗状況

(百万円)	2024年度 1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2024年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	560,000	552,825	+ 7,174	+ 1.3%	270,000	+ 4,542	290,000	+ 2,631
営業利益	78,000	76,899	+ 1,100	+ 1.4%	40,000	+ 13,326	38,000	△12,225
営業利益率	13.9%	13.9%	—	—	14.8%	—	13.1%	—
経常利益	68,000	86,047	△18,047	△21.0%	32,000	△6,761	36,000	△11,286
当期純利益	45,000	72,273	△27,273	△37.7%	21,000	△8,122	24,000	△19,150

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	105円	100円	+ 5円
米ドル	135円	141円	△6円
ユーロ	146円	152円	△6円

中計'21 重要経営指標

連結営業利益率

14%超

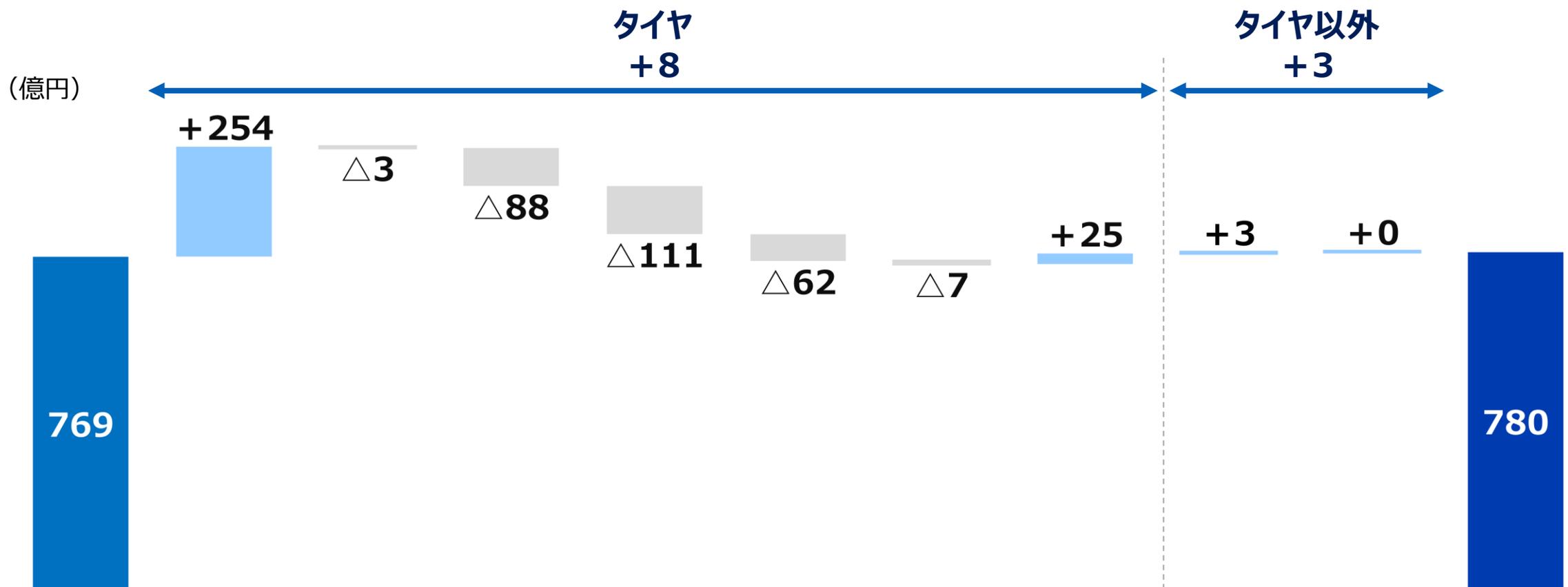
配当性向

30%以上

2024年度通期 為替感応度

米ドル	8億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	合計
2023年度 1-12月実績										769
1-6月予想	+150	+10	△53	△31	+4	+32	+10	+10	△0	+133
7-12月予想	+104	△13	△35	△80	△66	△40	+15	△7	+0	△122

(百万円) 売上高	2024年度 1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2024年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	517,000	505,438	+11,561	+2.3%	249,000	+6,476	268,000	+5,084
自動車部品	43,000	47,374	△4,374	△9.2%	21,000	△1,925	22,000	△2,449
その他	0	25	△25	-	0	△18	0	△6
調整額	0	△13	+13	-	0	+9	0	+3
合計	560,000	552,825	+7,174	+1.3%	270,000	+4,542	290,000	+2,631

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2024年度 1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2024年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	77,500	76,725	+774	+1.0%	39,700	+12,299	37,800	△11,524
営業利益率	15.0%	15.2%	-	-	15.9%	-	14.1%	-
自動車部品	500	178	+321	+180.3%	300	+1,028	200	△706
営業利益率	1.2%	0.4%	-	-	1.4%	-	0.9%	-
その他	0	△4	+4	-	0	△1	0	+6
調整額	0	△0	+0	-	0	+0	0	+0
合計	78,000	76,899	+1,100	+1.4%	40,000	+13,326	38,000	△12,225

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

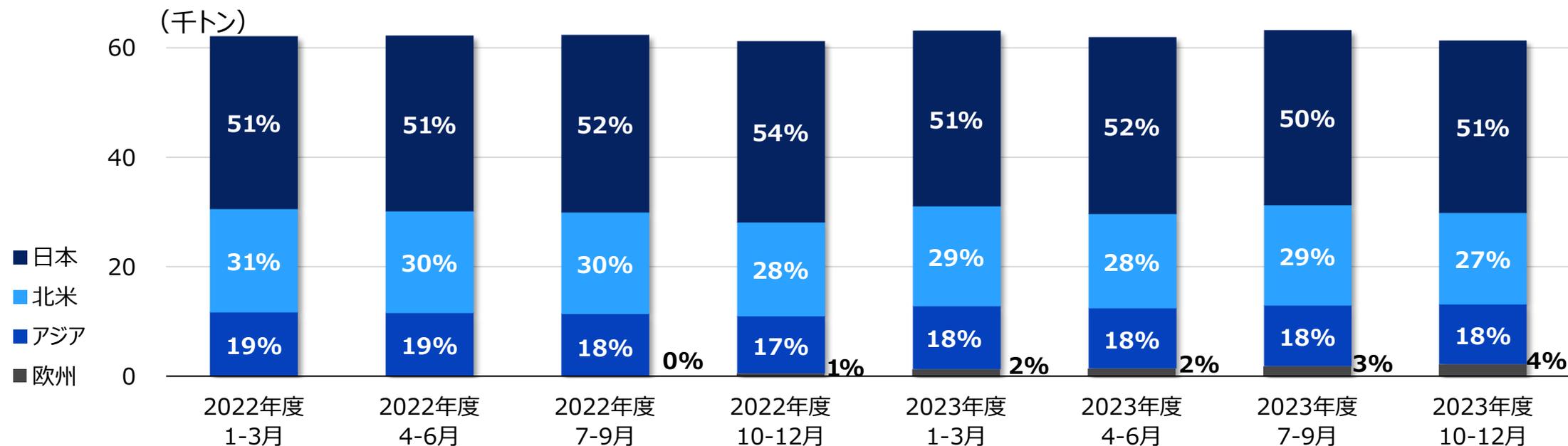
(百万円)

売上高	2024年度				2024年度			
	1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	1-6月予想	対前年度 増減額	7-12月予想	対前年度 増減額
日本	123,300	122,206	+1,093	+0.9%	55,300	△444	68,000	+1,537
北米	363,300	357,801	+5,498	+1.5%	178,700	+4,383	184,600	+1,115
その他	73,400	72,817	+582	+0.8%	36,000	+603	37,400	△20
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	560,000	552,825	+7,174	+1.3%	270,000	+4,542	290,000	+2,631

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2024年度				2024年度			
	1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	1-6月予想	対前年度 増減額	7-12月予想	対前年度 増減額
日本	48,900	67,047	△18,147	△27.1%	26,300	+3,390	22,600	△21,538
北米	16,800	17,589	△789	△4.5%	7,900	△2,068	8,900	+1,278
その他	10,800	3,323	+7,476	+225.0%	5,600	+3,566	5,200	+3,910
消去または全社	1,500	△11,061	+12,561	—	200	+8,437	1,300	+4,123
合計	78,000	76,899	+1,100	+1.4%	40,000	+13,326	38,000	△12,225

地域別生産量構成比

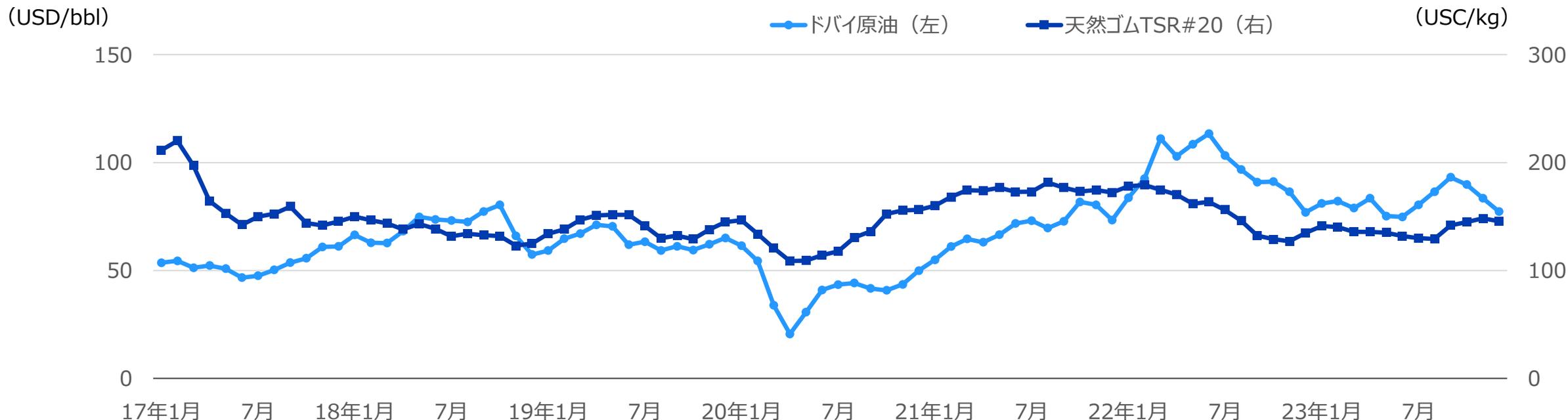


	2022年度					2023年度					2024年度 1-12月計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
日本	31.5	32.0	32.3	33.0	128.8	32.0	32.2	31.9	31.4	127.5	125.9
北米	19.0	18.6	18.6	17.2	73.4	18.3	17.3	18.4	16.8	70.8	76.2
アジア	11.7	11.6	11.3	10.5	45.0	11.5	11.0	11.1	10.9	44.5	42.1
欧州	—	—	0.1	0.5	0.6	1.3	1.4	1.8	2.2	6.8	15.5
合計	62.1	62.2	62.4	61.2	247.8	63.1	62.0	63.2	61.3	249.6	259.8
前年比率	101%	103%	102%	98%	101%	102%	100%	101%	100%	101%	104%

※前年同期間を100とした場合の前年比率

(%)	2022年度					2023年度					2024年度 1-12月 計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
国内外新車	87	95	144	108	106	120	122	108	108	114	107
国内市販	102	96	111	106	104	104	102	79	81	90	107
海外市販	95	97	105	100	99	107	100	103	93	101	104
北米	107	108	104	114	108	110	104	112	96	105	106
欧州	81	70	94	76	80	103	96	94	80	94	94
東南アジア	78	108	139	79	98	106	86	92	99	95	101
合計	95	97	111	103	101	108	103	99	93	101	105

ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)

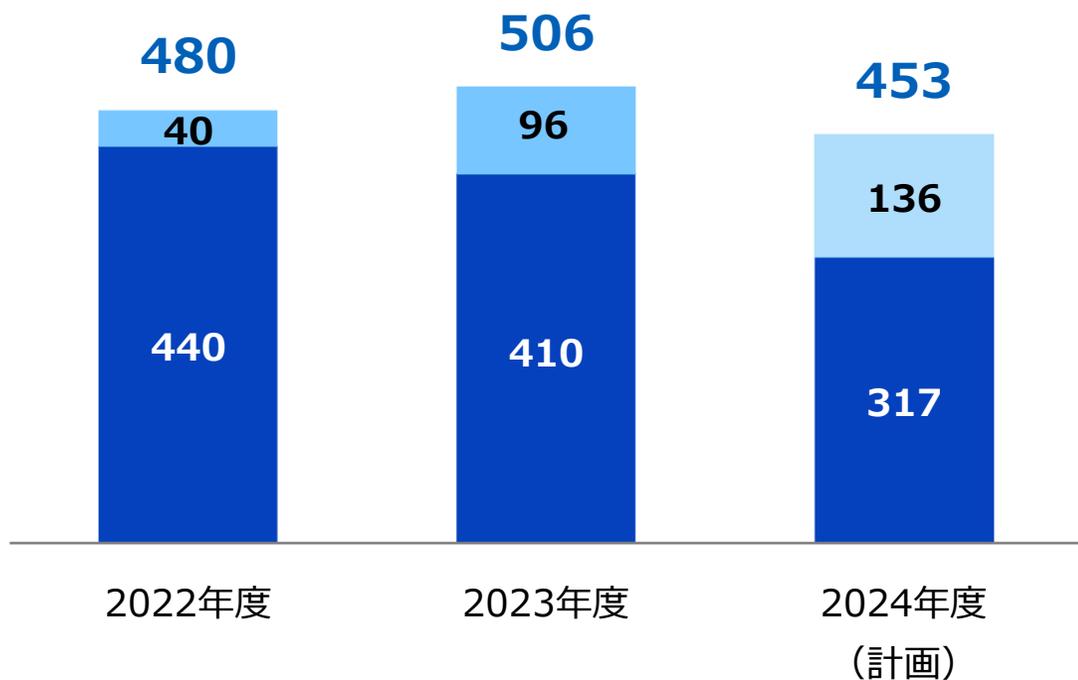
	2022年度					2023年度					2024年度 1-12月計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
天然ゴム	△1	△2	+4	+7	+9	+9	+20	+10	+5	+44	△44
石化品	△39	△44	△50	△52	△185	△30	△22	+22	+8	△22	△57
その他原材料	△30	△26	△32	△15	△103	△7	0	+4	+7	+5	△10
合計	△70	△72	△78	△59	△279	△28	△2	+36	+20	+26	△111

設備投資



(億円)

■ タイヤ ■ その他

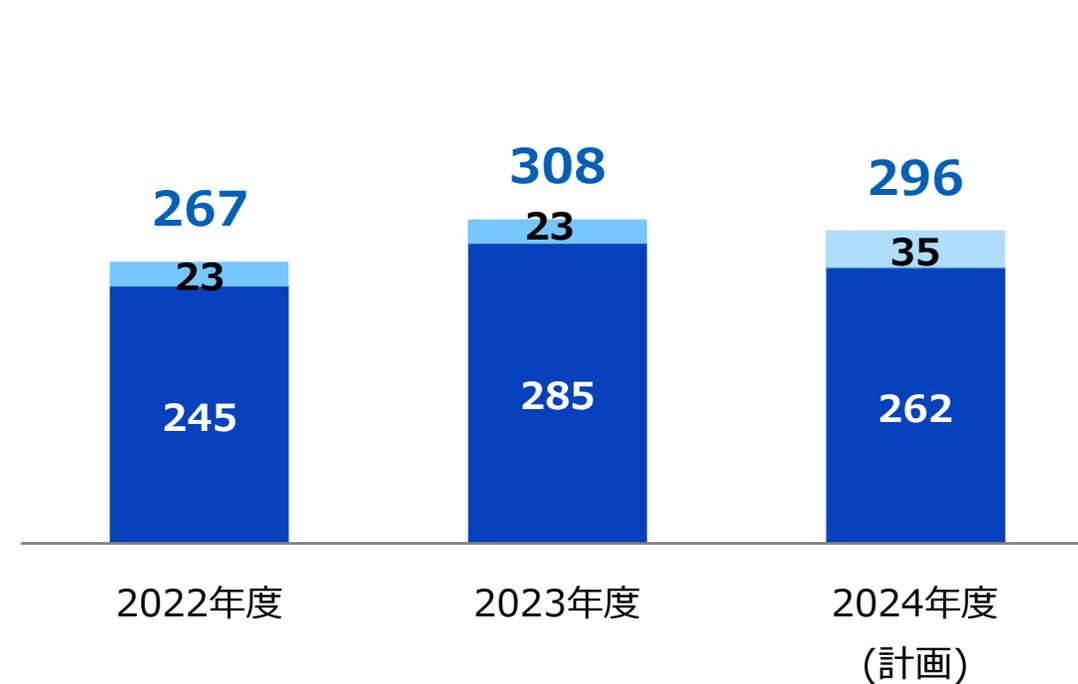


減価償却費

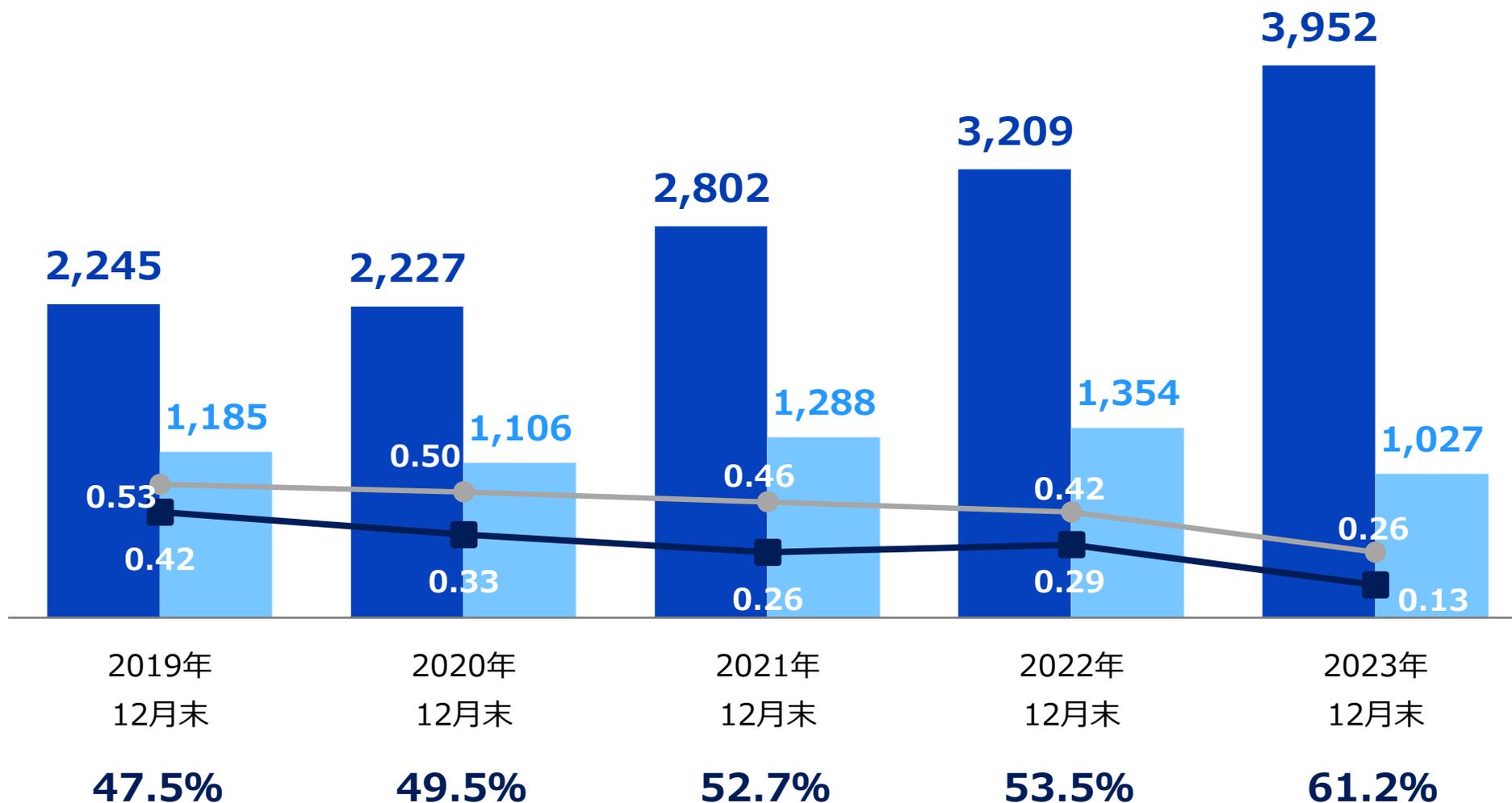


(億円)

■ タイヤ ■ その他

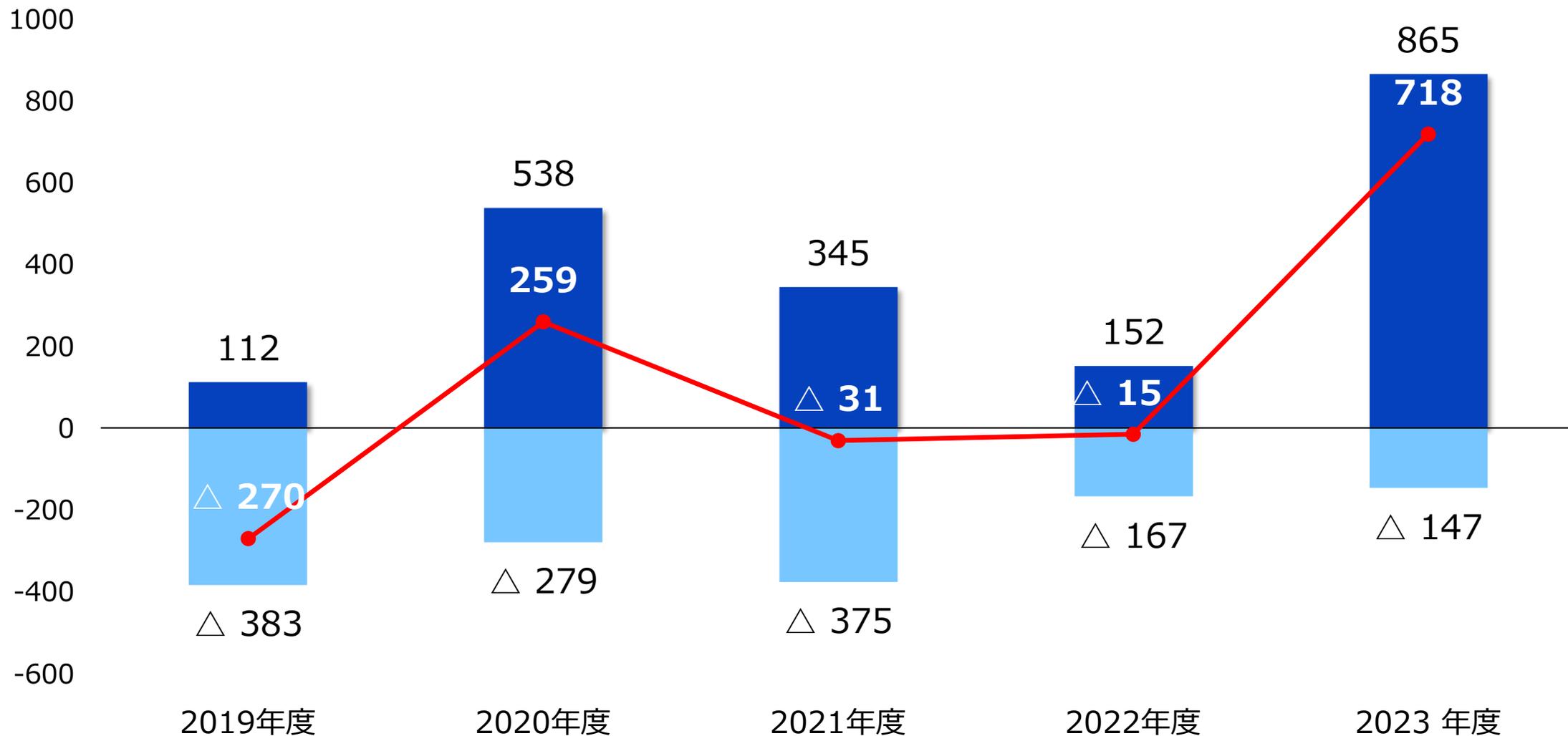


■ 純資産（億円）
■ 有利子負債残高（億円）
● D/Eレシオ（倍）
■ ネットD/Eレシオ（倍）



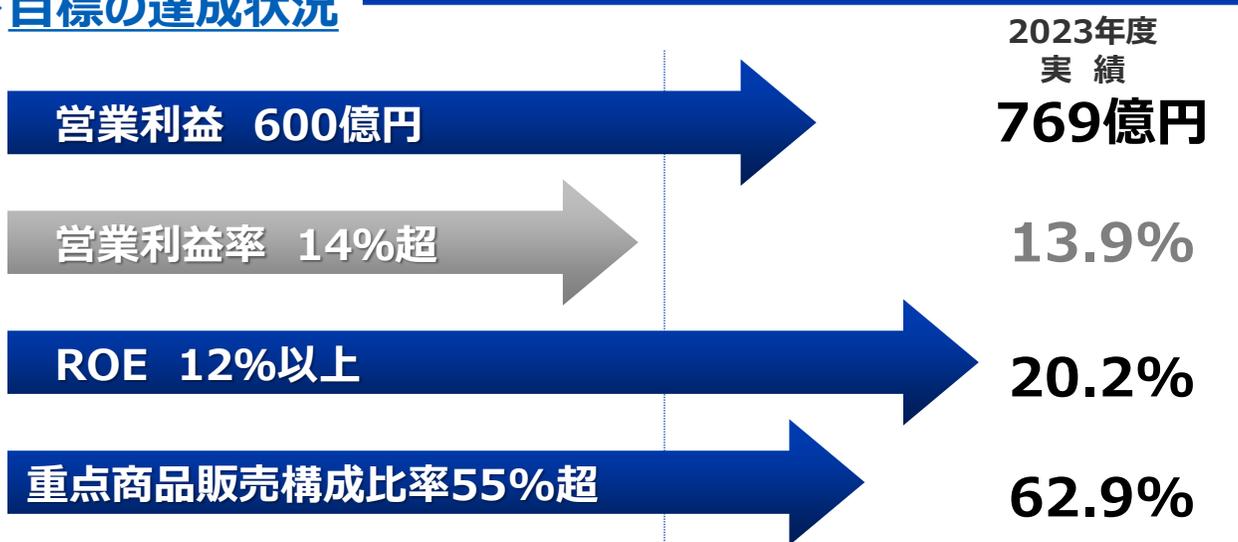
(億円)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー

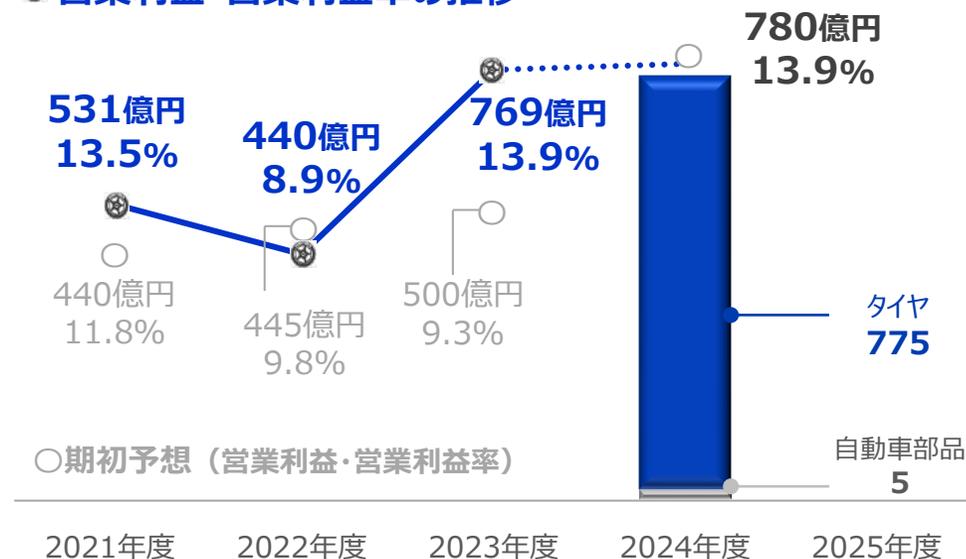


1. 2023年度 通期実績
2. 2024年度 通期業績予想
- 3. 経営施策 進捗状況**

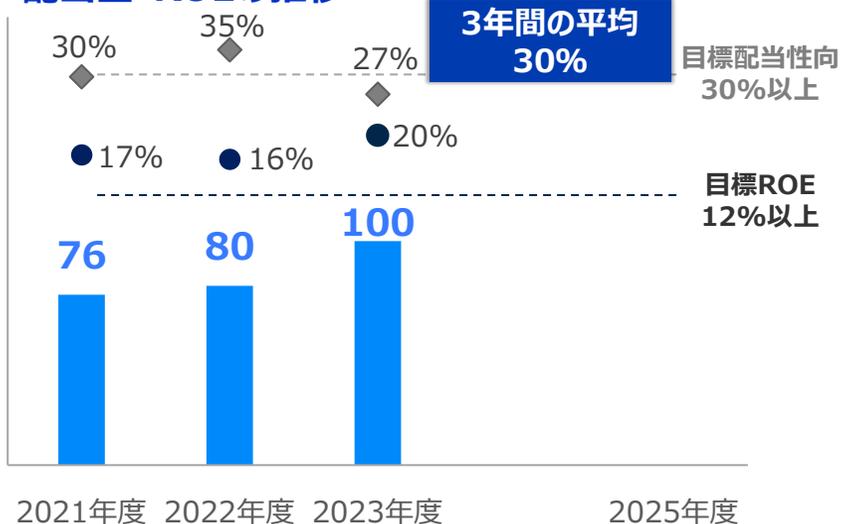
◆ 目標の達成状況



◎ 営業利益・営業利益率の推移



◎ 配当金・ROEの推移



業績連動を基本に、資本とも連動させた
安定的な配当実施を志向

- 「中計'21」で掲げた配当性向30%以上を目標として継続
- 更に株主資本配当率等を総合的に勘案し長期安定配当をめざす

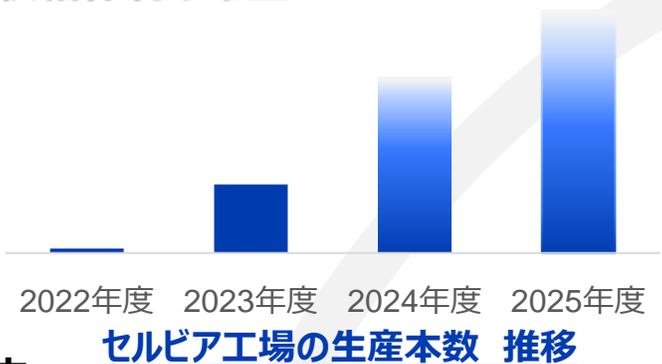
◎ 設備投資の進捗状況



目標の達成・更なる収益向上に向けて各種施策を推進

生産

セルビア工場のフル生産化による
グローバルでの最適供給体制の確立



- 需要動向に合わせた生産体制の確立
- コストコントロールによる収益性向上を加速

開発

販売

ニーズに適した商品開発・適時市場投入

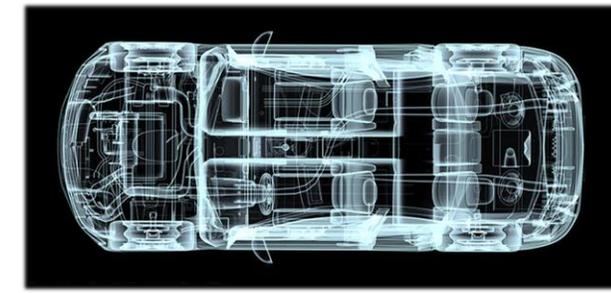
- EV用LTRの上市（2024年2月）
- ライトトラックなどのEV化促進を見据えた継続した商品開発
- モビリティの環境負荷低減と走りの愉しみを両立する商品開発



OPEN COUNTRY A/T III EV

事業

自動車部品事業の安定した黒字化の達成



- 米国拠点での生産終了（2023年10月）
→ 合理化した新体制での継続的黒字化・収益性の更なる向上

生産

米国におけるWLTRの生産能力増強



- PCRのセルビア工場等への生産移管によるWLTRの生産比率の向上

価値創出	持続可能なモビリティ社会	モビリティの環境負荷低減	▶ モデルチェンジごとの低燃費性能グレードアップ計画に基づき、技術開発/商品開発を推進。
	多様なモビリティライフ	独自のEV対応戦略	▶ EV向けタイヤ「OPEN COUNTRY AT III EV」を日米で披露。本年より北米で市場投入。
価値創出を支える 基盤	多様な人財の挑戦と働きがい	多様性・包摂性の促進	▶ 女性活躍推進研修やアンコンシャスバイアス研修を通じ、DE&Iへの意識を啓発。
		社員エンゲージメントの定点観測	▶ 第2回社員意識調査結果を分析、評価。風土改善アクションを策定、対策開始。
	次世代モビリティの技術革新	サステナブル素材使用比率向上	▶ 目標：2030年40%→2050年100% 進捗：2023年26%※ ※2023年末時点の生産品における重量ベース
リスク 価値創出を守る マネジメント	全企業活動における脱炭素の推進	ICP制度の正式運用を開始	▶ 脱炭素関連プロジェクト等の投資案件評価において活用。2023年度の試験運用を経て、2024年度より正式運用※開始。 ※炭素価格を10,000円/tに設定。
		SBT認証取得	▶ SBT認証取得に向けた準備を開始。
	サプライチェーンのサステナビリティ	責任ある原材料調達	▶ 第三者機関の調査システムを活用し、天然ゴム一次サプライヤーの環境・社会リスク評価を完了。
		ホワイト物流	▶ 船舶・鉄道輸送への切替え等による国内トラック輸送比率の低減を推進。
全社リスク管理体制の再整備	リスクマネジメント体制の確立	▶ リスクマネジメント方針/規程を策定し公表。将来を含め事業活動に影響を及ぼす各種リスクを全社的視点で包括的に管理する体制を整備。四半期毎に各種リスクをモニタリングする取組みを開始。	

価値創出



PROXES CF3

モビリティの環境負荷低減

- 【2024年1月より国内で発売】
- スタンダード低燃費商品として、NANOENERGY3PLUS比 転がり抵抗16%低減※
※当社所定条件での測定
- シリカ分散剤の一部に天然由来のサステナブル素材を使用



OPEN COUNTRY A/T III EV

走りの愉しみ

- 【2024年2月より北米で発売】
- ピックアップトラック・SUVのEV用タイヤ
- 当社の強みであるデザイン性と独自技術による燃費（電費）性能を両立

P22ご参照

価値創出を支える基盤



- 在宅勤務を選択肢に入れた柔軟な就業様式を導入、入社時の自律的かつ多様な働き方を実現するオフィスへ改装
- 9割以上の社員がこれらに対する満足を示す（意識調査）

柔軟性ある働き方と働き場所の充実



- リニューアブル素材約60%
= バイオマス由来のブタジエンゴムほか、植物由来オイルなど
- リサイクル素材約30%
= 富山大と共同開発中のCO2由来ブタジエンゴムなど

サステナブル素材使用比率90%達成のコンセプトタイヤ

価値創出を守るリスクマネジメント



基盤技術センター

再生可能エネルギー活用の促進

- 国内外生産拠点に加え、国内の事務技拠点においても、購入電力の再エネ転換や太陽光発電による自家消費を推進

(1) ライツホルダー（負の影響を受け得る人種を有する人）：当社従業員、就職希望者
下記のオレンジ背景部分を、重要リスクと特定する。

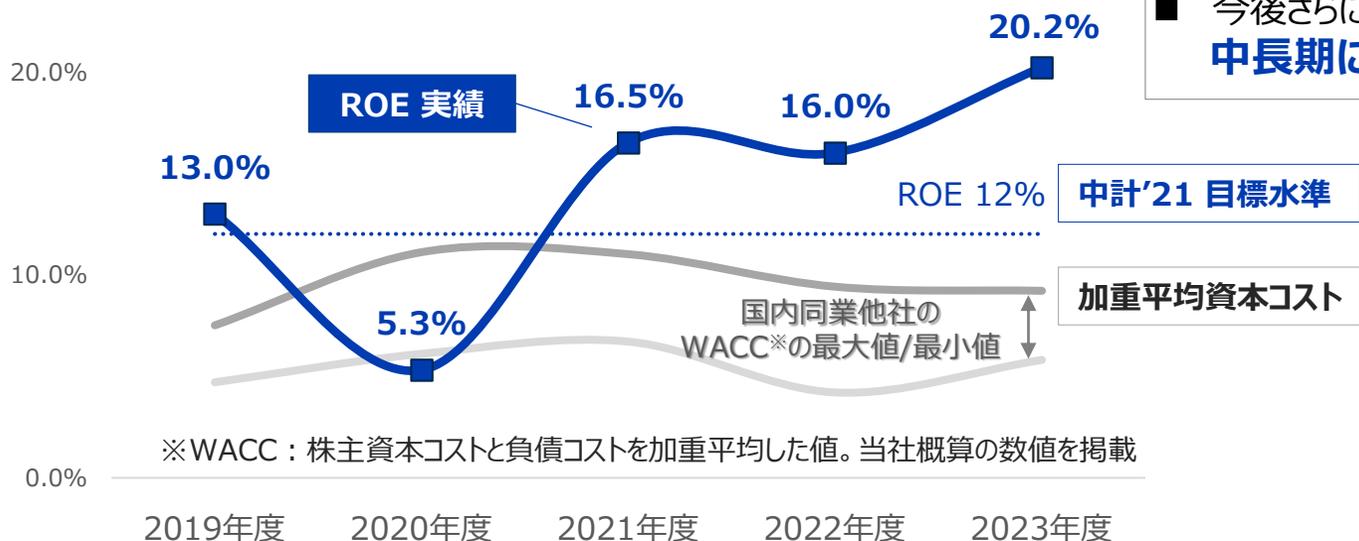


- 当社グループの事業活動及びサプライチェーンを対象に考慮すべき人権リスクを洗い出し、重要度評価を完了
- 重要リスクから優先的にアクションプランの実行に着手

人権リスク評価の実施

現状分析

● 資本コストとROE（自己資本当期純利益率）



※WACC：株主資本コストと負債コストを加重平均した値。当社概算の数値を掲載

- 資本収益性は資本コストを上回る水準。PBRについては約1倍で推移
- 今後さらに市場からの評価を得られるよう、**中長期にわたる収益力の更なる向上と資本の最適化**についての施策を推進

● 市場評価：PBR（株価純資産倍率）



今後の対応

- 中長期・安定的な成長をめざした施策を推進 -

収益力の更なる向上

- セルビア工場からの安定供給体制を確立
→ **最適供給体制の構築によるコスト競争力の向上**
- 強みを磨き上げた差別化商品群の供給・販売比率の更なる向上

資本の最適化

- 中長期での成長に資する開発・設備投資の実行
- 業績連動と安定性を両立させた利益還元の実施
→ 配当性向30%以上を軸に株主資本配当率等を
総合的に勘案し**長期安定配当をめざす**

TOYO TIRES

DAKAR RALLY 2024

市販車部門優勝



OPEN COUNTRY

TOYO TIRES

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。